

S T S を活用した育児支援輸送サービス実証実験調査報告書の概要

1 . 調査目的

国土交通省では、平成16年度において、子育て世代の育児負担の軽減、男女共同しての社会参画の促進に資するS T S (スペシャル・トランスポート・サービス) を活用した育児支援輸送サービスについて、子育て世代の方にモニターとして参画して頂きながら実証実験を行い、その結果等を踏まえたうえで、今後の方向性、支援方策等について調査を行ったところである。

これにより、輸送分野に専門性を有するタクシー会社と子育て支援センター等がそれぞれの得意分野を活かしながら連携し、輸送分野における子育て支援活動を行うことにより、子育てに携わるすべての者にとって「安全で安心して利用できる足」を提供していくことを目指している。

2 . 実証実験の概要等

1) 実証実験の概要

対象地域及び対象者

府中市：市内居住者及び市内育児関係施設利用者を対象。

実証実験実施期間

平成17年1月4日(火)～2月28日(月)の56日間

実証実験の内容

あらかじめ、実験に参加される利用者モニターを募集し、タクシーによる子供送迎等の利用された際のニーズ、課題を把握した。

実証実験実施に伴い明らかになった事項(利用実態データ及び利用者・事業者からの意見)を整理するとともに、実験終了後に利用者アンケート調査、事業者ヒアリング調査を行い、ニーズ、問題点、実施に当たっての留意事項等を明確にした。

モニターの募集

国土交通省ホームページへの掲載、府中市広報紙への掲載、タクシー車内への備付などにより、幅広く募集した。

モニターの登録は28名(子供は49名)

実際の利用者は17名

2) 実証実験の実施体制

【育児支援輸送サービス提供事業者】

十全交通株式会社(本社：東京都府中市)

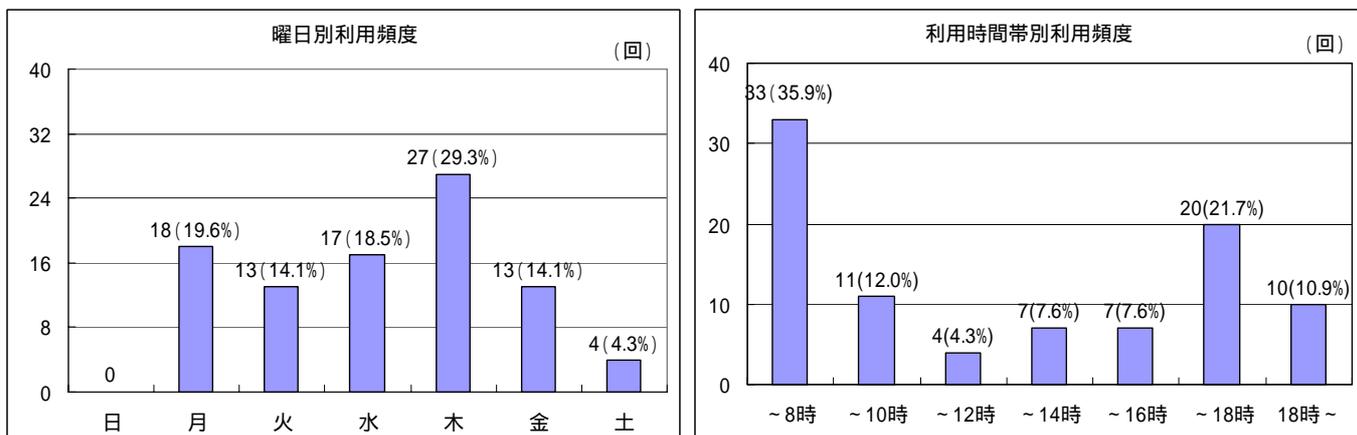
【育児支援サービス提供事業者】

社会福祉法人多摩同胞会、NPO・ACT 府中たすけあいワーカーズばば

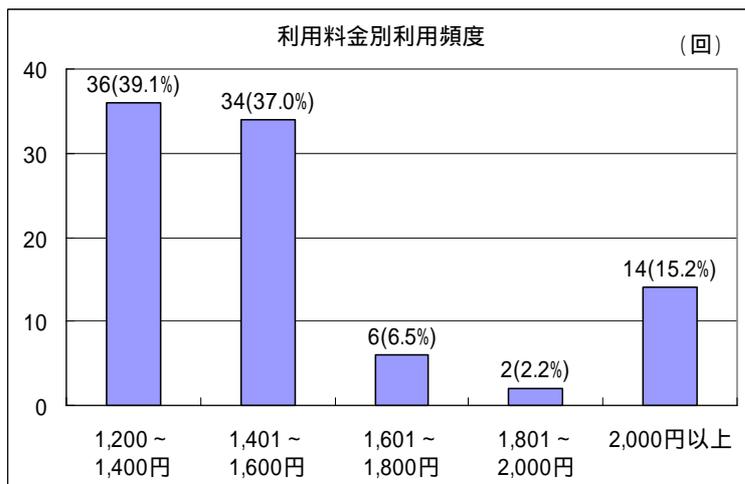
3. 実証実験の利用実績

延べ92回の利用があった。曜日・時間帯・利用料金、育児サポーター等利用の有無別の集計結果は以下のとおりである。

(1) 利用曜日・時間帯： 平日の8時前と16時～18時に集中

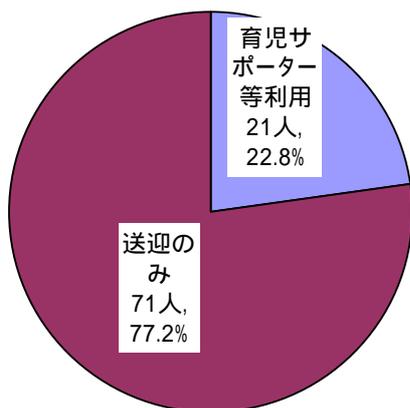


(2) 利用料金： 1,600円以下が76%



(3) 育児サポーター利用

送迎のみが77%、育児サポーター等利用(同行)は23%(21件)であった。



4. 実証実験後のモニターアンケート調査

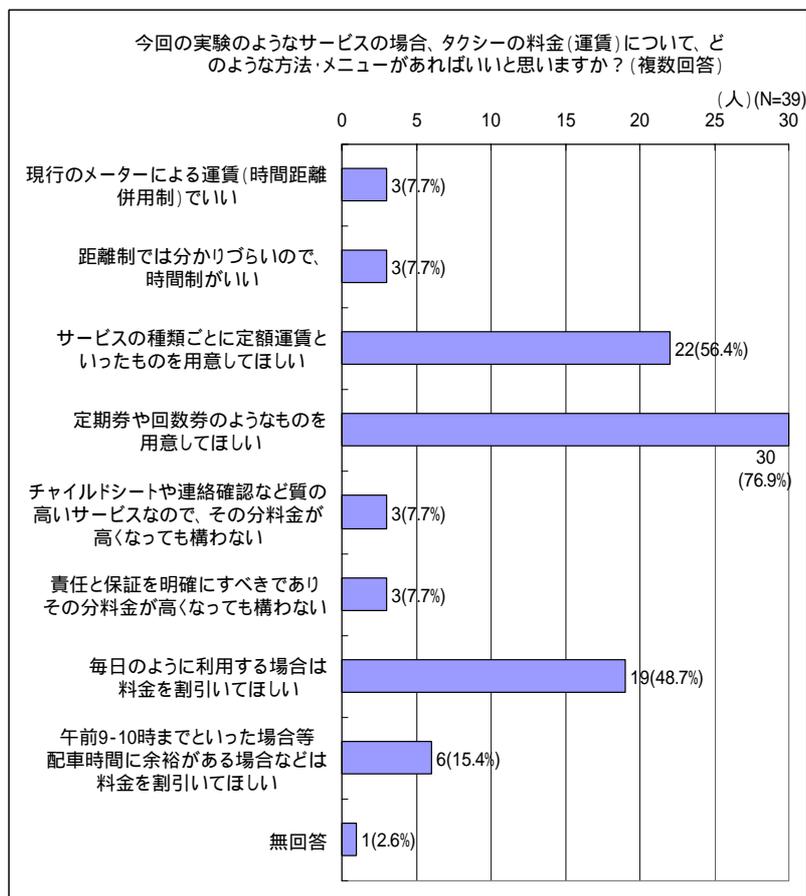
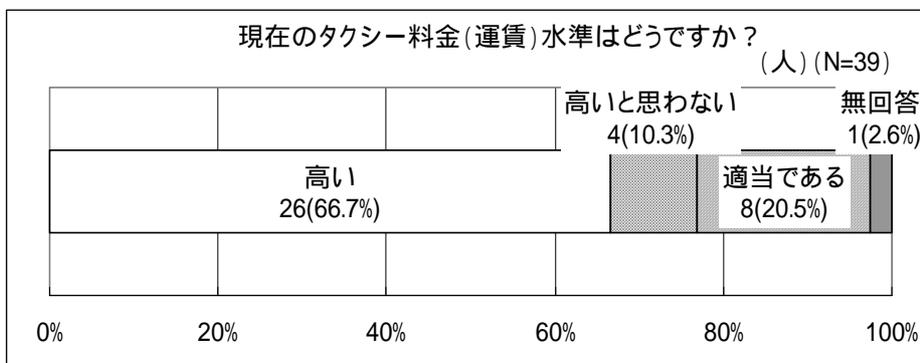
(1) アンケート票 回収状況

	発送数	回収数	回収率
モニター（利用者）	17	15	88.2%
モニター（非利用者）	11	5	45.5%
非モニター	23	19	82.6%
計	51	39	76.5%

(2) モニターアンケート調査結果

タクシー料金について

高いとの意見が 67% を占める。今回のようなサービスに関しては、サービスごとの定額運賃、定期券・回数券、毎日の利用の際には割引いてもらいたいとの意見が多かったが、一部で、安全・安心確保のため高くなっても良いとの意見もあった。

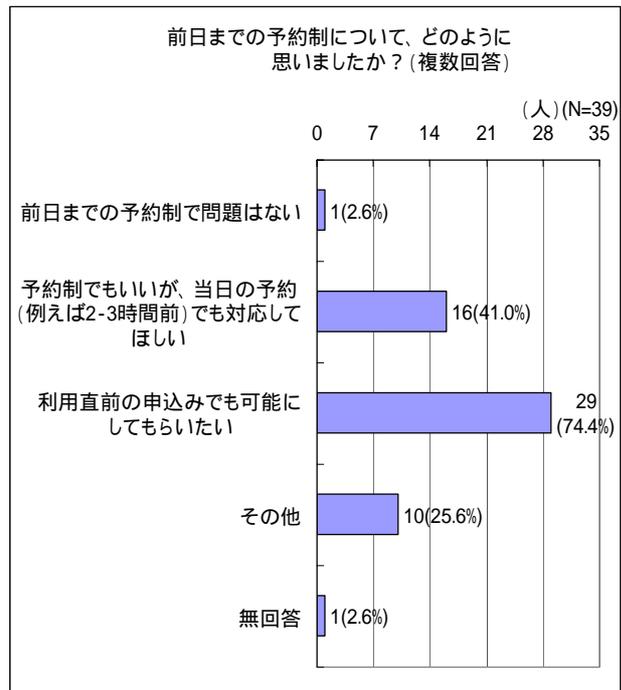


予約制について

多くの方は、直前の予約を可能にしてもらいたい、あるいは、2～3時間前の予約を可能にしてもらいたいとの回答であった。

その他

- ・急な利用に対応して欲しい(残業、天候、体調不良)(6名)
- ・医療機関の送迎では、帰宅時の時間の想定が困難。
- ・利用直前の申し込みの場合、確実に親からの依頼であるとわかるようにしてほしい。
- ・メールも使用できると良い。

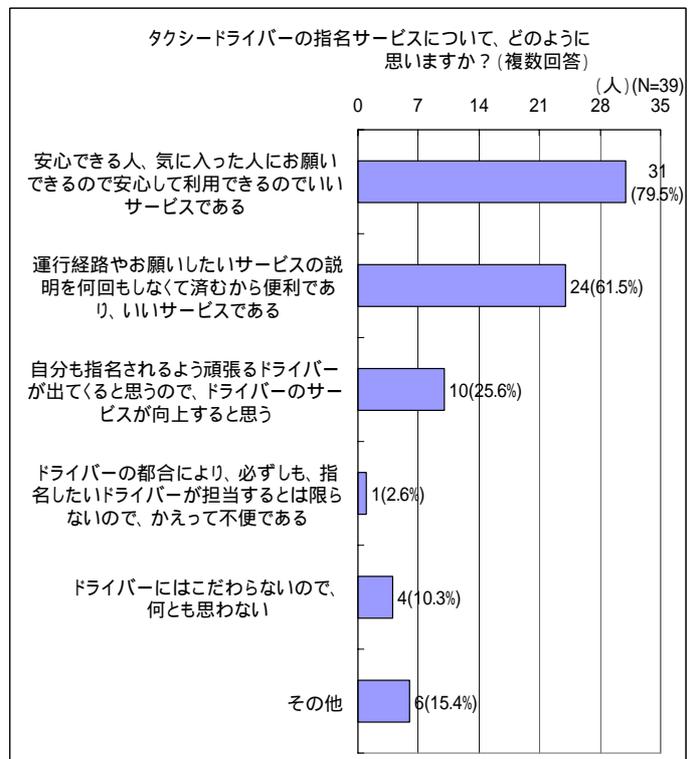


タクシードライバーの指名サービスについて

タクシードライバーの指名サービスは、安心できる、説明がいらなくて便利、ドライバーのサービスが向上する、との理由で、ほとんどの人が賛成意見である。

その他

- ・定期的に利用するのでなければ指名を受ける方も大変だと思う。タクシー料金も割高になる気がする。
- ・女性ドライバーにお願いできると子供も安心してのっていてくれる。
- ・相性の良いドライバーさんにめぐりあえるまで時間のかかる場合もあるように思う。
- ・担当ドライバーを初めにつけてほしい。

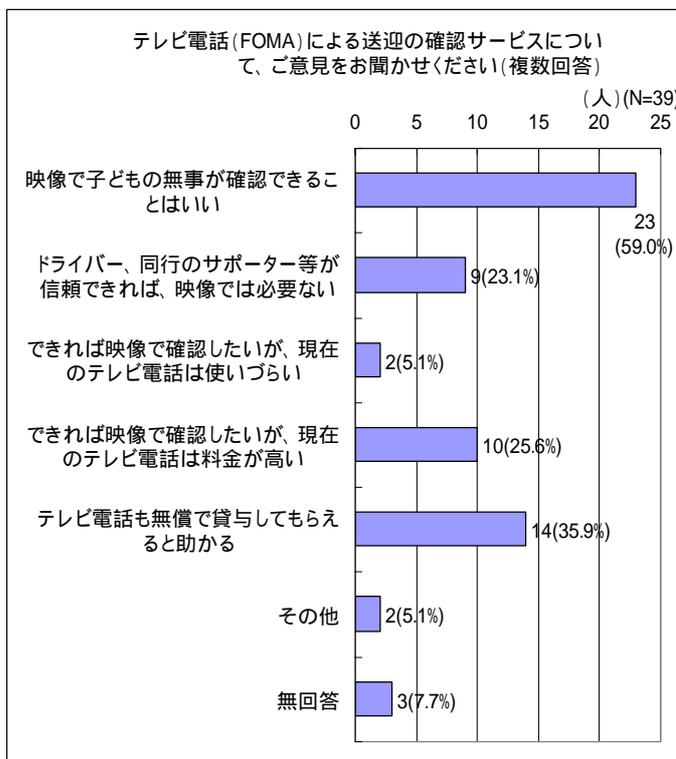


FOMAサービスについて

FOMAのようなサービスには賛同の意見が多いが、料金が高い、ドライバーが信頼できれば必要ないとの意見も多く、また、無償で貸し出して欲しいという意見も多かった。

その他

- ・FOMA を利用したことがないので具体的意見はないが、万が一の場合に、現場の確認ができる可能性があるのも子供又は同行サポーターが所持することができれば安心できる。運転手の方との信頼関係の方が重要。
- ・子供の予防接種時に保育園へのお迎えをドライバーに依頼し、自分の職場に連れてきてもらうのに利用したが、接種不可となり試せなかった。



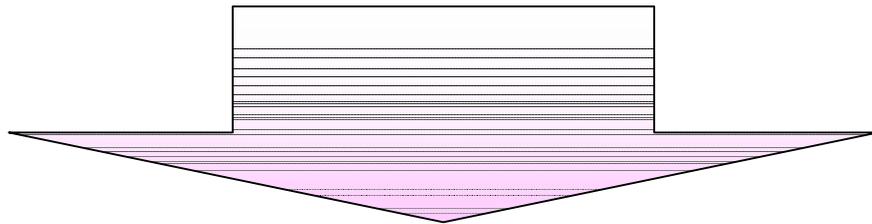
STSを活用した育児支援輸送サービスのあり方

利用者のニーズ

- ・日常的に輸送サービスを利用したいが、金銭的負担が大きい。
- ・直前の予約を可能とし、突発的な利用にも対応してもらいたい。
- ・チャイルドシートの適切な装着、ドライバー指名、送迎確認等、安心して任せられるようにしたい。

タクシー事業者の課題

- ・タクシー乗務員の負担、時間的制約が大きく、採算性がとれない。
- ・直前の予約への対応等を図るには、対応できる乗務員の確保、乗務員への教育等、負担が大きい。



タクシー事業者の育児支援サービスへの対応

利用者ニーズに対応したサービスの提供

・相乗りシステムの導入

利用者、事業者双方にとって納得感がある料金設定が可能

・タクシー事業者間の連携・協力による運行

利用者ニーズに対応した迅速・効率的なサービスの提供が可能

・安全性の確保

運行中の子供の安全確保、送迎確認の徹底、事故時の対応等

育児支援サービス提供者との連携

タクシー事業者と育児支援サービス提供者との連携をコーディネートする主体・仕組みの構築。

利用者・社会に対する認知度の向上

サービスの安全性、利用者の負担軽減についてアピールするなど、サービスのPRを充実。

S T S を活用した育児支援輸送サービス実証実験調査委員会委員名簿

- | | | |
|-----|-----------------------|--|
| 委員長 | 島田 晴雄 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| 委員 | 三浦 宏喜 | 社団法人全国乗用自動車連合会経営委員長
毎日タクシー株式会社代表取締役社長 |
| 委員 | 水田 誠 | ^{じゅうぜん} 十全交通株式会社代表取締役社長 |
| 委員 | 浅田 多津子 | NPO・ACT府中たすけあいワーカーズぽぽ
理事長 |
| 委員 | 山村 一生 | 社会福祉法人府中市社会福祉協議会地域福祉課長 |
| 委員 | 田口 信一 | 社会福祉法人多摩同胞会母子生活支援施設施設長 |
| 委員 | 中西 光彦 | 全日本交通運輸産業労働組合協議会事務局長 |
| 委員 | ^{どやま} 度山 徹 | 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課
少子化対策企画室長 |
| 委員 | 加藤 由起夫 | 国土交通省総合政策局交通消費者行政課長 |
| 委員 | 田端 浩 | 国土交通省自動車交通局旅客課長 |
| 委員 | ^{ふなびき} 船曳 義郎 | 国土交通省関東運輸局自動車交通部長 |